



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年6月27日

東名

上場会社名 パレモ・ホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 2778 URL <http://www.palemo.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)福井 正弘
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理担当 (氏名)太田 直人 (TEL)052-581-6800
四半期報告書提出予定日 2023年7月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年2月21日～2023年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	4,050	△13.1	188	9.4	180	8.8	174	14.0
2023年2月期第1四半期	4,661	11.0	172	-	165	-	153	-

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 174百万円 (14.0%) 2023年2月期第1四半期 153百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年2月期第1四半期	円 銭 14.54	円 銭 12.04
2023年2月期第1四半期	12.83	12.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年2月期第1四半期	百万円 8,607	百万円 1,405	% 16.2
2023年2月期	8,769	1,245	14.1

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 1,392百万円 2023年2月期 1,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年2月期	-				
2024年2月期(予想)		0.00	-	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年2月21日～2024年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,650	△6.5	445	5.2	430	△11.5	410	△11.2	34.15
通期	16,900	△3.5	635	20.5	605	4.2	565	0.5	47.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期1Q	12,051,384株	2023年2月期	12,051,384株
2024年2月期1Q	24,236株	2023年2月期	24,116株
2024年2月期1Q	12,027,184株	2023年2月期1Q	11,953,366株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	0.00	0.00	0.00	55,000.00	55,000.00
2024年2月期	0.00				
2024年2月期(予想)		0.00	0.00	55,000.00	55,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウイズコロナの生活様式の定着や行動制限の撤廃により3年ぶりに各種イベントが開催されるなど、経済活動の正常化による個人消費の増加や、水際対策の緩和を受けたインバウンド需要の急回復もあり、景気は回復基調となりました。その一方で、世界経済の減速の影響から資源価格の高騰は一服したものの、ウクライナ情勢が緊迫化すれば、再び資源価格が高騰する恐れもあり、予断を許さない状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、「中期経営計画」(事業再構築計画)の2年目として、安定的な収益の2本柱体制(アパレル、雑貨)を確立するための事業構造改革をさらに推進させるとともに、安定売上確保のための仕入れ・在庫管理を行うガバナンス体制の強化を推し進めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、春先から例年より気温が高めに推移したことや、5月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたことで、外出需要がさらに高まり、経済活動の正常化とともに、客数の回復傾向が一段と進展しました。特にアパレルにおきましては、ワンピース、ブラウスなどの通勤やセレモニー用途の春物販売が好調となり、気温がさらに上昇してからは、天然素材の半袖初夏シーズン商品の需要が高まり、販売の拡大につながりました。一方、雑貨におきましては、300円均一雑貨ショップの「イルーシー300」で、コロナ禍の家ナカ需要の反動から、生活雑貨、衛生商品等を中心に販売が縮小したことで、苦戦傾向となりました。

以上のような状況から、全社の既存店売上高前年比は、99.8%となりました。店舗の出退店におきましては、新規に8店舗を出店し、6店舗を退店した結果、当第1四半期末の店舗数は285店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高40億50百万円(前年同期比13.1%減)、営業利益1億88百万円(前年同期比9.4%増)、経常利益1億80百万円(前年同期比8.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億74百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は86億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億61百万円減少しました。これは主に、季節的要因による預け金2億45百万円、商品3億10百万円が増加したものの、現金及び預金7億38百万円、退店に伴う差入保証金75百万円が減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は72億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億21百万円減少しました。これは主に、借入金5億70百万円の返済によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は14億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億60百万円増加しました。これは主に、当第1四半期純利益の計上に伴う利益剰余金1億74百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、2023年3月31日公表の数値から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度においては、2022年3月に策定した事業再構築計画に基づき、事業構造改革や経費削減を遂行した結果、営業利益527百万円、経常利益580百万円、親会社株主に帰属する当期純利益562百万円を計上しておりますが、依然として、流動負債合計が流動資産合計を上回る状況が継続しており、金融機関との支援状況によっては資金繰りに重要な懸念が発生する可能性があることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象及び状況が存在していると認識しております。

この状況を解消すべく、事業再構築計画に基づき赤字店舗の閉店を行い、同時に経費削減策として、人件費の減額、賃料減額の交渉、店舗毎の売上状況に応じた適正な人員配置、店舗費用の効率化及び本部・本社費用の削減などの取り組みを実施しております。各金融機関とは定期的に「事業再構築計画」の進捗について詳細の説明、協議の場を設けるなど、理解を得ながら緊密な関係を維持しております。また、2023年5月12日に実施しましたバンクミーティングにおいて、2023年5月19日を期限としていた借入金のうち、570百万円を各金融機関の融資残高に応じて均等に返済した上で、返済後の融資残高を2024年5月20日まで引き続き維持していただく旨、全金融機関から同意を得ております。

従いまして、今後も計画が達成される限りにおいては、運転資金及び投資資金を十分に賄える状況との認識から、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,044,721	2,306,672
売掛金	138,203	204,143
預け金	661,419	906,545
商品	1,455,424	1,765,839
貯蔵品	23,027	23,315
1年内回収予定の差入保証金	250,932	214,537
その他	36,112	70,742
流動資産合計	5,609,841	5,491,797
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	804,369	812,805
工具、器具及び備品（純額）	122,905	118,579
建設仮勘定	220	-
有形固定資産合計	927,494	931,384
無形固定資産		
ソフトウェア	61,895	52,993
その他	541	541
無形固定資産合計	62,436	53,534
投資その他の資産		
投資有価証券	4,800	4,800
長期前払費用	25,782	22,919
差入保証金	2,000,365	1,961,042
繰延税金資産	139,733	145,289
その他	3,984	2,059
貸倒引当金	△5,411	△5,381
投資その他の資産合計	2,169,253	2,130,729
固定資産合計	3,159,184	3,115,648
資産合計	8,769,026	8,607,445

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	635,889	1,073,259
電子記録債務	1,874,507	1,716,782
設備関係電子記録債務	11,479	22,115
短期借入金	2,350,000	1,708,681
1年内返済予定の長期借入金	1,137,500	1,041,473
未払金	122,515	151,115
未払費用	493,949	483,827
未払法人税等	13,327	3,263
未払消費税等	165,034	80,849
預り金	86,200	94,855
賞与引当金	22,200	45,390
資産除去債務	43,906	43,153
その他	3,056	9,734
流動負債合計	6,959,566	6,474,500
固定負債		
長期借入金	-	167,310
資産除去債務	553,778	550,354
長期末払金	10,171	9,513
固定負債合計	563,950	727,177
負債合計	7,523,516	7,201,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,249,217	2,234,642
利益剰余金	△1,111,874	△937,017
自己株式	△5,000	△5,023
株主資本合計	1,232,342	1,392,601
新株予約権	13,166	13,166
純資産合計	1,245,509	1,405,767
負債純資産合計	8,769,026	8,607,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月21日 至 2022年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年5月20日)
売上高	4,661,290	4,050,474
売上原価	2,188,206	1,921,708
売上総利益	2,473,084	2,128,765
販売費及び一般管理費	2,300,743	1,940,190
営業利益	172,340	188,575
営業外収益		
受取利息	55	4
仕入割引	392	705
債務勘定整理益	787	1,722
物品売却益	1,179	34
貸倒引当金戻入額	1,126	30
補助金収入	1,430	5
その他	233	103
営業外収益合計	5,205	2,606
営業外費用		
支払利息	11,510	11,098
支払手数料	-	30
その他	489	20
営業外費用合計	11,999	11,148
経常利益	165,546	180,032
特別利益		
雇用調整助成金	966	-
特別利益合計	966	-
特別損失		
固定資産処分損	7,116	1,505
減損損失	3,018	3,884
休業手当	739	-
賃貸借契約解約損	4,524	2,078
災害による損失	4,020	-
特別損失合計	19,419	7,468
税金等調整前四半期純利益	147,093	172,564
法人税、住民税及び事業税	3,817	3,263
法人税等調整額	△10,122	△5,556
法人税等合計	△6,305	△2,292
四半期純利益	153,398	174,856
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,398	174,856

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月21日 至 2022年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年5月20日)
四半期純利益	153,398	174,856
四半期包括利益	153,398	174,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,398	174,856
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(財務制限条項)

当第1四半期連結会計期間末の1年内返済予定の長期借入金のうち156,853千円には、以下の財務制限条項が付されております。

- ・2019年2月決算期を初回とする各年度決算期の末日における連結貸借対照表において、純資産の部の合計額を、2018年2月決算期の年度決算期の末日における純資産の部の合計額又は前年度決算期の末日における純資産の部の合計額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。
- ・2019年2月決算期を初回とする各年度決算期の末日における連結損益計算書において、経常損益の金額を0円以上に維持すること。

なお、前連結会計年度末において上記財務制限条項に抵触しておりますが、金融機関から期限の利益の喪失に係る権利の放棄を得ております。